

製品名: SPTBN1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21369**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:275kD;Observed MW:275kD

抗原情報

遺伝子名	SPTBN1
別名	SPTBN1;SPTB2;Spectrin beta chain; non-erythrocytic 1;Beta-II spectrin;Fodrin beta chain;Spectrin, non-erythroid beta chain 1
遺伝子 ID	6711
SwissProt ID	Q01082
免疫原	ヒト SPTBN1 の合成ペプチド

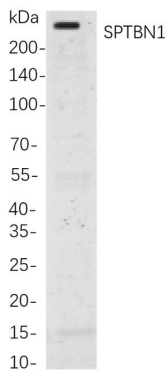
背景

細胞局在: 細胞質、膜。スペクトリンは、アクチン架橋タンパク質であり、細胞膜とアクチン細胞骨格を連結する分子足場タンパク質です。細胞の形状決定、膜貫通タンパク質の配置、そして細胞小器官の組織化に機能しています。スペクトリンは、 α サブユニットと β サブユニットからなる2つの逆平行二量体で構成されています。この遺伝子は、 β スペクトリン遺伝子ファミリーの一員です。コードされるタンパク質は、N末端アクチン結合ドメインと、二量体形成に関与する17個のスペクトリンリピートを含みます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



ラット脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析

SPTBN1 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。